



米本 隆記 議員

投票率を上げる手立ては

町長

所見は差し控える



投票箱

【米本】今年4月に行われた知事と県議会議員選挙は、両方とも62%強という結果だった。前回（平成27年）の時より5%も下がった。

選挙権が18歳からになって、若い人にもっと関心を持ってもらえるかと思った。また、年配の人はどうだったのか。今年4月の時点で有権者は約14000人、つまり約5300人は棄権された。

何か事情はあるにしても、投票率を上げることを考えないか。

町民の義務に対して行政は厳しく対応するが、権利の行使に対してはどうか。

【町長】政治の選挙介入、あるいは権力者の選挙介入が一番あってはならないことである。

投票率に関しては選挙管理委員会の所管事務であるので所見を述べるのは差し控える。

【米本】集落内の高齢者とのつながりのために見守り・敬老事業など予算はつけてある。果たしてそれだけで高齢者に十分な配慮ができてくるのか。

生まれ育った集落に愛着があり、最後まで実家で過ごしたいと思う人は多いはず。補助金よりも大切にすることはできないのか。行政として何か発信するものはないのか。

高齢者の居場所や、気軽に相談ができる場所が必要と思うが。

【町長】人生100年の時代、生きがい人はそれぞれ異なるもの。身近な集落で定期的に出かける居場所として、敬老事業は活用してほしい。

高齢者の生きがい創出は

教育長

高齢者学級を充実させる



生きがいを求めて

また、相談ことは地域包括支援センターを気軽に活用してほしい。

【教育長】独居の高齢者の増加もあるなか、気軽に相談できる場所づくりはとても大切である。

ある。

高齢者学級を開設しており、ここを充実させることによって、気軽に相談できる良好な居場所になると考える。